

北名古屋市 市民活動センター「μ-base」



昨年10月、名古屋芸術大学アーツスクエア3階（旧西図書館）に市民活動センターが開設されました。市民参加型ワークショップを通して、施設の活用、運営方法などを考え、世代を問わず誰もが多様な用途で利用できる画期的な施設です。

名称の「μ（ミュー）-base（ベース）」は、meet（出会う）enhance（高め合う）with（ともに進める）base（拠点）の意味。「まちの未来をともに育む共創のまちづくり拠点」です。市民が出会い交流し、高め合う、つながりの場として、また男女共同参画をみんなで考える場としても活用したいものです。

《運営する指定管理者の一般社団法人ママライフデザイン研究所の田口さおりさん談》

多様な主体の市民が協力し、まちの新たな価値を創造する“共創のまちづくり活動”。相談対応や育成プログラム、メンバーシップ制度を通じて、個人、団体、企業の連携を促進し、持続可能な地域の発展と魅力向上を支援するさまざまな機能を備えています。

現在、カフェ、乳幼児・キッズエリア、自習室を中心にたくさんの方にご利用いただいています。

目指すは、活気あるまちづくり拠点であり、多世代にわたる市民の皆様に愛される集いの場。共創の起点となり、新たにまちづくりに参画してくれる担い手を増やせるよう、これまでまちづくりに興味のなかった方にこそ、ぜひ足を運び興味を持っていただきたいと、さまざまな情報の提供や企画運営を行っています。

詳細は右記二次元コードから
(@mubase.kitanagoya)



お問い合わせ：北名古屋市市民活動センターμ-base
TEL 0568-97-7868



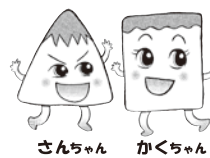
編集後記

初回から昨年まで12年、男女共同参画推進啓発事業「とらいあんぐるフェスタ」を開催しました。多様化する社会情勢の中で、自己実現、人権擁護などについて、多くの人たちに考えてもらえる良い機会でした。また、小学生に「男女共同参画イラスト」を描いてもらい、未来を担う子どもたちが男女共同参画をどのように受け止めているのかを知ったことは収穫でした。

この情報紙も今回が最終号。毎年、市民の皆様はもちろん、他の市町村でも興味深く読んでいただいていた。感謝です。

今年は新しい施設で楽しく学ぶワークショップを企画していますので、ぜひご参加ください。今後も男女共同参画社会の実現を目指して草の根的に活動ができればと思います。(Y)

編集 さんか・クラブ
イラスト えりちゃん
発行 北名古屋市生活安全部
まちづくり推進課（西庁舎2階）
電話 0568 (22) 1111
FAX 0568 (25) 0611
Eメール machi@city.kitanagoya.lg.jp
ホームページ https://www.city.kitanagoya.lg.jp/



2025年2月発行

多様な学びができる児童厚生施設

スタート
星登館



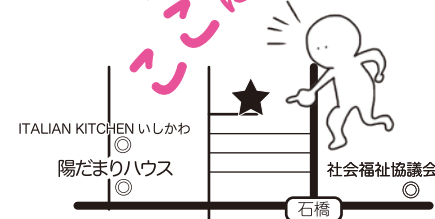
やさしいカフェ
わくわくの森
近日OPEN!

0歳からの
英語サークル



はじめての 英語あそび
えいえいご〜

地域のみんなが
過ごせる
居場所 あります



㈱株式会社 START
北名古屋市石橋角畑 106-2
TEL 080-2653-2557

きたなごやし

とらい
あんぐる

男女共同参画情報紙

最終号

Vol.34
2025.2



目次

- P2 とらいあんぐる
フェスタヒストリー
- P3 関係市民団体紹介
- P4 μ-ベース紹介



まほろば遊さん講演



尾張えみの会「いろいろリボン」



情報紙「とらいあんぐる」展示

男女共同参画啓発事業

— 主催：さんか・クラブ 後援：北名古屋市 —

「私の中のもやもや虫」カードゲームで発見!

みんなで話す
ワークショップ

とき 2月8日(土) 13:30 ~ 15:00

募集定員 25名 ※中学生から参加OK
※当日参加OK

ところ 北名古屋市 市民活動センターμ-base

申し込み さんか・クラブ 下の二次元コードからお申込みください

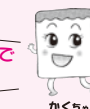
北名古屋市法成寺蔵化60番地
名古屋芸術大学アーツスクエア3F

講師 ジェンクロス・カワサキ
(ファシリテーター) 代表 岡田恵利子氏

参加費 無料



もやもやをみんなで
捕まえてよう!



お申込みは
コチラ▶



2/28(金)

働くなら自分らしく! ~誰もが輝ける社会のつくり方~

共催：北名古屋市、一般社団法人 ママライフデザイン研究所

参加費
無料

午前の部 10:30 ~ 11:20

職人が編み上げる 心地よい暮らし
~個々のエンパワーメントがもたらす
自分らしく輝ける社会~



講師 moily(モイリー) 代表 池宮 聖実氏

午後の部 13:00 ~ 14:00

ジモト企業の社長に聞く!!
「誰もが働きやすい職場づくりの秘訣」



講師 名工銘鉄株式会社 代表取締役 田中 俊行氏

ところ 北名古屋市市民活動センター「μ-base」イベントスペース
北名古屋市法成寺蔵化60番地 名古屋芸術大学アーツスクエア3F

申し込み 北名古屋市役所まちづくり推進課
下の二次元コードからお申込みください

募集定員 30名 ※当日参加OK、託児あり(要予約)

締め切り 2月21日(金)



◀お申込みはコチラ

北名古屋市の男女共同参画

北名古屋市では男女共同参画社会の実現に向けて講演会や勉強会など、さまざまな事業を進めており、市民協働による男女共同参画推進事業「とらいあんぐるフェスタ」の開催や、男女共同参画情報紙「とらいあんぐる」の発行を通して啓発活動に努めています。

これまでに「男女混合名簿」や「中学校制服選択制」などを導入してきました。

男女共同参画は、市が誕生する前の旧西春町・旧師勝町でも、行政と市民が手を取り合って進めてきました。北名古屋市となって19年。今回は、「とらいあんぐるフェスタ」（同フェスタ実行委員会と市の共催）と情報紙（市男女共同参画推進市民団体さんか・クラブと市の協働）を紹介します。

「とらいあんぐるフェスタ」ヒストリー

フェスタのサブテーマは「ひと、輝く」。

すべての人たちが自分らしく生き生きと暮らせる社会を目指して毎年多彩な内容で開催。

市内の小学生たちに描いてもらった「男女共同参画イラスト」の展示、関係各市民団体の発表や展示の催し、映画会、講演会、コンサートなどが行われました。

主なイベントと共に、どのように啓発してきたかを振り返ります。

第1回 (2013年3/3)

ライブ「地球のステージ」

NPO法人「地球のステージ」

代表の桑山紀彦さんがライブ&トーク

第2回 (2014年3/2)

講演会「自分の人生は自分でデザインする」

NPO法人「マライカの翼プロジェクト」早瀬和恵さんが講演

第3回 (2015年3/1)

啓発劇「モモタロー・ノー・リターン」

「北名古屋市女性の会」が朗読劇

第4回 (2016年3/5～6)

映画「世界の果ての通学路」上映

●トランスジェンダー当事者の結城愛さんが講演

●がん罹患を経験したシンガーソングライター

杉浦貴之さんの「トーク&ライブ」

第5回 (2017年3/5)

講演会「やわらの術と道」

柔道家の溝口紀子さんが講演

第6回 (2018年3/4)

啓発事業「いろいろリボン」

「尾張えみの会北名古屋支部」が

啓発運動リボンの色を周知

第7回 (2019年2/11)

映画「彼らが本気で編むときは、」上映

生田斗真主演、トランスジェンダーがテーマ

第8回 (2020年2/23)

映画「体操しようよ」上映

草刈正雄主演、シングルファーザーがテーマ

第9回 (2021年2/28)

関係市民団体の催し（コロナ禍により縮小）

第10回 (2022年2/27)

関係市民団体の催し（コロナ禍により縮小）

第11回 (2023年2/26)

「まほろば遊ライブトークショー」

元宝塚歌劇団俳優まほろば遊さんの講演、自己実現がテーマ

第12回 (2024年2/25)

ディズニー映画「マレフィセント」上映

●講演会「中島美幸ミニ講演会」

ジェンダー論を専門とする

愛知淑徳大学非常勤講師の中島美幸さんが講演



情報紙「とらいあんぐる」

男女共同参画情報紙「とらいあんぐる」は、北名古屋市誕生時から作成し毎年発行。創刊号から今回の最終号まで、時代に合わせたテーマで男女共同参画を分かりやすく伝えています。

市広報折込の市内全戸配布を経て、現在は自治会からの回覧板により配布しています。

北名古屋市女性の会

はじめは旧師勝町で男女共同参画社会推進のための企画に応募したこと。昔話をジェンダーの視点からみつめた奥山和弘さんの作品「モモタロー・ノー・リターン」を、自分たちで脚本におこし啓発劇として発表会を行いました。

これをきっかけに市内の小学校だけでなく、県内の各市町でも公演を行いました。以後、年に1回、さまざまなテーマと内容で「つどい」を開催し、男女共同参画社会実現の重要性を知る機会としています。

私たちのこの活動で「あたりまえ」だったことが「それおかしいよ」と認識していただけが増えています。いけばうれしく思います。



北名古屋市女性の会 会長 大口

尾張えみの会 北名古屋支部

発端は今から40年前にさかのぼります。愛知県地域婦人問題開発研究会で県内各地から集まった女性たちが学び、その修了生が各地域で実践活動をするために県内に7つの団体がつくられました。

目的は女性の地位向上と地域社会の発展に寄与すること。尾張地区には「ここで暮らす人々がいつも笑顔でいられるように」との願いを込めて「尾張えみの会」が発足しました。

尾張地区の市町数は現在18市町。全盛期には100名を超える会員が活動していましたが、高齢化、地域活動の参画方法の多様化などにより会員数は減少しています。その中でも北名古屋市からの会員数は最多の13名で、それぞれが子育て支援、家庭教育、NPOなどの中間支援事業・健康問題への取り組み、男女共同参画の啓発などに携わり、仕事やボランティアとして中心的な役割を果たしながら活動の輪を広げています。

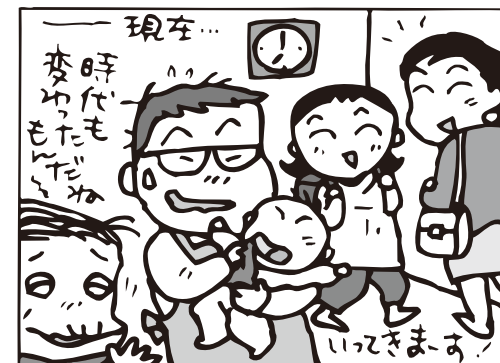
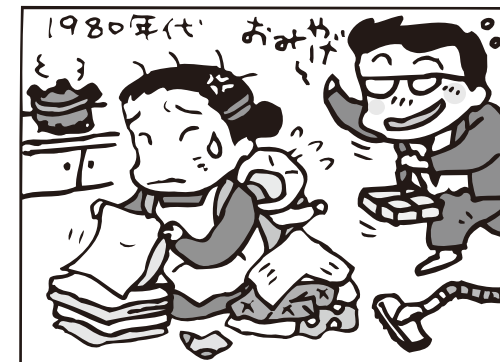
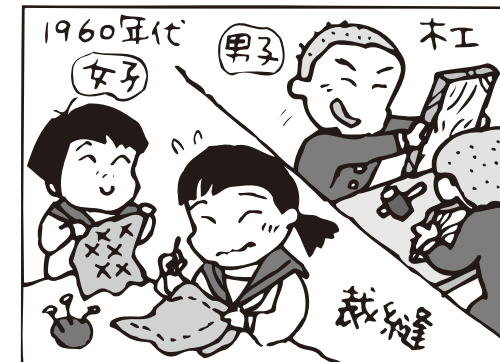
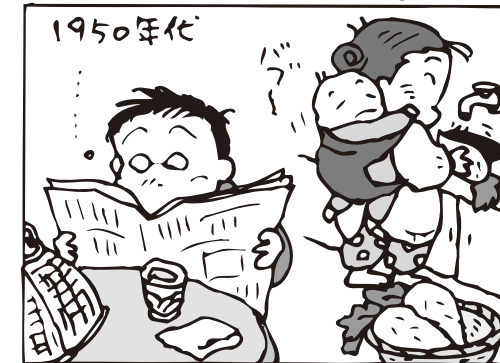


2024年度総会

「尾張えみの会」は、そんな一人一人が「男女共同参画社会を目指す」なかで、迷った時、困った時に戻ってこられる場所でもあります。

尾張えみの会 北名古屋支部 金森

おばあちゃん生えいちゃん



「ひとりごと…」＝60代女性編＝



「ファミリーシップ宣誓制度」

この前、YouTube番組「ふたりパパ」のみつつんさんの話を、とある研修で聞いたの。みつつんさんは番組名の通り、パパ2人で息子を育てながらスウェーデンで生活している人。スウェーデンでは共同親権が認められていて「ふたりママ」や、パパとママが複数いる家庭もあるんだって。子どもたちも「ふへん、君んちはパパ2人なんだね」って感じで、そういう家庭の形が普通なんだって。

日本では慎重な傾向があるかもしれないけど、一歩ずつは進んでる。愛知県でも昨年4月から「ファミリーシップ宣誓制度」が導入されたんだ。

いろんな理由で「家族」の関係がとれない人にとって、支えとなる制度が「家族」の意味を考え直す機会になるといいなあ。



愛知県
ファミリーシップ
宣誓制度